

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和3年 会報
第2号



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

小高村政は明日の村づくりを着々と進めています

田んぼに植えられた稲に風が吹き渡り、本来は爽やかな季節であるはずが、コロナ禍は収まるどころか、変異株感染が拡大している状況で、オリンピックの開催も危ぶまれています。令和三年のおだか陽一後援会活動もコロナ禍により制限され、二月開催予定の総会を中止し、今月実施予定の親睦バス旅行も中止に追い込まれました。連日、マスクメディアのトップニュースが新型コロナに関連で、医療の危機、経済停滞が報じられており、影響を受けている村民の皆様にはご同情申し上げます。係る状況のなか、小高村長の肝いりである、ふるさと納税が順調に成長し、八

積駅周辺の整備事業も計画どおり進められ活気に満ちています。北側は来月に交流センターが老若男女のいきいきとした集いの場として開設され、南側の駅前広場はラウンドアバウト化の工事が十二月に完成し、安全・安心が図られることと思います。住んで良かった長生村、子ども達が誇れる村づくりを目指す小高村長を全面的



オープンを待つ長生村交流センター

に支援・協力し、このことが後援会の発展につながることを信じ、令和三年第二号の後援会便りを皆様にお届けします。今後とも本誌のご愛読はもとより、おだか陽一後援会・小高村政に対しご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、コロナ禍のなか皆様の健康・ご多幸をお祈り申し上げます。

村長報告



村長 小高 陽一

① 交流センター オープン

今年度もすでに一ヶ月半が過ぎました。この先十五年をかけて村づくりを進める、長生村第六次総合計画の初年度は順調に滑り出しましたが、不安を募らせるのは新型コロナウィルス感染症です。日頃から役場職員はもと

より、広く村民にも手指消毒、マスク着用、密を避ける、そして何より不要不急の外出を控えるよう呼び掛けしておりますが、一人、また一人と増す感染者数にしっかりとした対策を立てられな

次のうれしいニュースです。村の広報五月号でもお知らせしましたが、長生村交流センターがいよいよオープンします。六月十二日(土)に来賓を招いて落成式を行ない、翌十三日(日)から利用を開始します。

② ふるさと納税 十億円

開館に先立ち、六月五日(土)、六日(日)午前九時から午後四時まで内覧会を開催いたしますので、マスクを着用してご参加くださるようお願いいたします。

四月十五日、ふるさと納税三月分の集計表が手元に届きました。まだ確定ではありませんが、昨年四月からの令和二年度の総額は十億七九〇〇万円、驚きの金額です。元年度の七億九二五〇万円からまた伸びました。実は新型コロナの影響か